



本事業は、SDGsの「8 働きがいも経済成長も」「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」に資する取組です。

2019年12月25日(水)
あいち産業科学技術総合センター産業技術センター
常滑窯業試験場 材料開発室
担当 安田、吉元、榎原
電話 0569-35-5151
愛知県経済産業局産業部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 山田、佐野、林
内線 3389、3388
ダイヤルイン 052-954-6347

総合技術支援セミナー「セラミックス造形技術講習会」の参加者を募集します

あいち産業科学技術総合センターでは、総合技術支援セミナーとして、様々な産業分野で話題となっているテーマを取り上げ、技術講習会を2012年から開催しています。

3Dプリンター^{*1}の普及に伴い、樹脂や金属に加えて、セラミックスでも3Dプリンターで3次元かつ複雑な形状に造形できるようになっています。セラミックスの場合、造形した後に電気炉等で焼成等を行います。最近では3Dプリンターで造形から焼成まで行う製造技術を目指して、レーザーを用いたセラミックスの焼結技術^{*2}が開発されています。

この度、常滑窯業試験場において、セラミックスの最新の造形技術に関する講習会を行います。

参加は無料です。お気軽に御参加ください。

1 日時

2020年2月4日(火) 午後1時30分から午後4時40分まで
(受付開始：午後1時)

2 場所

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター常滑窯業試験場 講堂
常滑市大曾町4丁目50 電話：0569-35-5151

3 内容

テーマ1：「セラミックスのレーザー焼結技術」(午後1時30分～午後3時)

講師：一般財団法人ファインセラミックスセンター

グループ長／主任研究員 きむら 木村 ていいち 禎一 氏

テーマ2：「粒子集積技術の確立と次世代製造プロセスへの展開」

(午後3時10分～午後4時40分)

講師：豊橋技術科学大学 総合教育院 (電気・電子情報工学系 兼務)

教授 むとう 武藤 ひろゆき 浩行 氏

4 対象

セラミックスの造形技術に関心のある企業の方々を始め、どなたでも参加できます。

5 参加費

無料

6 定員

30 名程度（申込先着順）

7 申込方法

申込書に御記入の上、FAX 又は電子メールで申込先までお送りください。

参加申込書はあいち産業科学技術総合センター産業技術センター常滑窯業試験場の Web ページ (<http://www.aichi-inst.jp/tokoname/>) からダウンロードできます。

8 申込期限

2020 年 1 月 31 日（金）午後 1 時（必着）

定員に達し次第締め切ります。御了承ください。

9 共催

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター常滑窯業試験場
とこなめ焼技術協議会

10 申込先及び問合せ先

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター常滑窯業試験場
材料開発室 安田、吉元、榊原

住所：常滑市大曾町 4 丁目 50

電話：0569-35-5151 FAX：0569-34-8196

E-mail：tokoname@aichi-inst.jp

URL：http://www.aichi-inst.jp/tokoname/

【用語解説】

用語	説明
※1 3D プリンター	<p>対象物の 3D データを設計図として、その断面形状を積層していくことで立体物を形成する。液状の樹脂に紫外線などを照射し少しずつ硬化させながら積層していく光造形方式、熱で融解した樹脂を少しずつ積み重ねていく熱溶解積層法など、様々な方式がある。</p> <p>セラミックスでは、光造形方式を用いることが多く、紫外線で硬化する樹脂とセラミックスの原料を混合したペーストを用いて、積層造形する。造形後に電気炉等で脱脂・焼成を行い、セラミックス成形物を得る。</p>
※2 焼結技術	<p>原料粉末から一旦成形物を作り、それを高温にさらすことで、その中の粉末どうしが付着して焼き固まる現象を焼結といい、加熱方法や条件など粉末を焼結させるために必要となる技術を指す。</p> <p>また、セラミックスの原料粉末を成形し、加熱して、一定の形状と強度をもつ焼結体を得る工程を焼成という。</p>